

2-1. 海岸の現況

2-1-1. 沿岸の現況

(1) 地形・地質

京都府の沿岸域は、最北端の経ヶ岬を境として、若狭湾沿岸域と山陰海岸沿岸域とに大きく分けられる。

若狭湾沿岸域では、大浦・栗田の各半島があり海岸線の出入が複雑で、舞鶴湾・栗田湾・宮津湾などの閉鎖海域を形成している。地形的には、花崗岩やカンラン岩の低い山地が、ほぼ全域を占めるが、府北部最大河川の由良川が、栗田湾近くに流入し、他の中小河川も、各湾奥に注いでおり、それぞれ中規模程度の沖積平野を形成している(図2-1参照)。

また、山陰海岸沿岸域では、基盤岩類の低い山地が、同様に全体を覆うものの、流入河川が少なく、台地が崖となって海に入る所が多く見られる。従って、多くの砂浜海岸は、両端を崖や岩場で閉ざされた、いわゆる「ポケットビーチ」であり、砂浜の安定性に寄与している。

一方、海底地形を見ると、若狭湾側では、岸近くは勾配が約 1/55 であるが、深くなるとともに緩くなり、水深 50~100m では約 1/150 となっている。これに対して、山陰海岸側では、海底勾配は 1/50~1/60 程度のまま深くなっている。

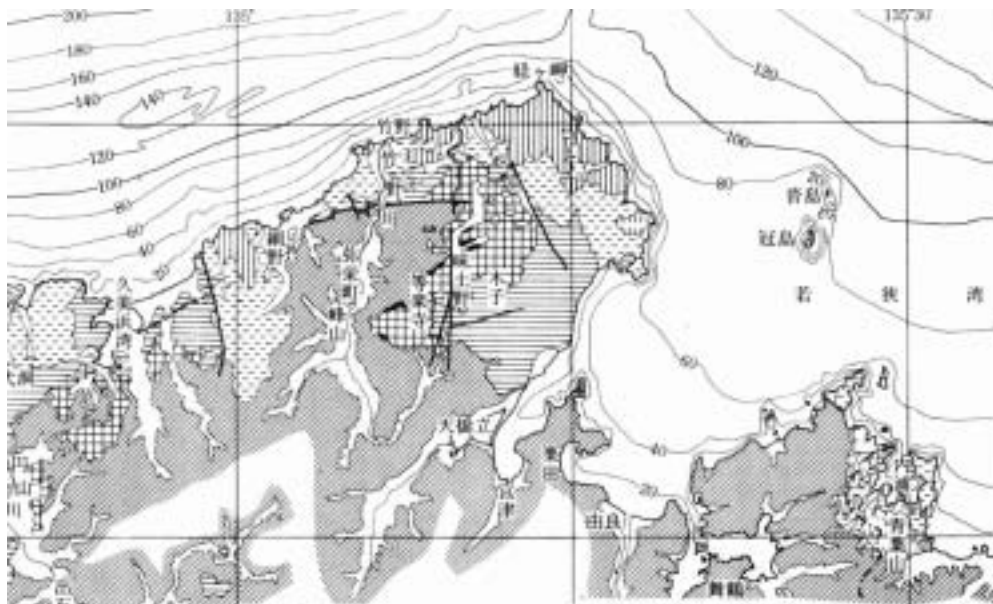
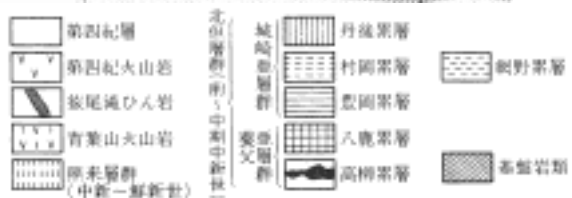


図2-1:地質図

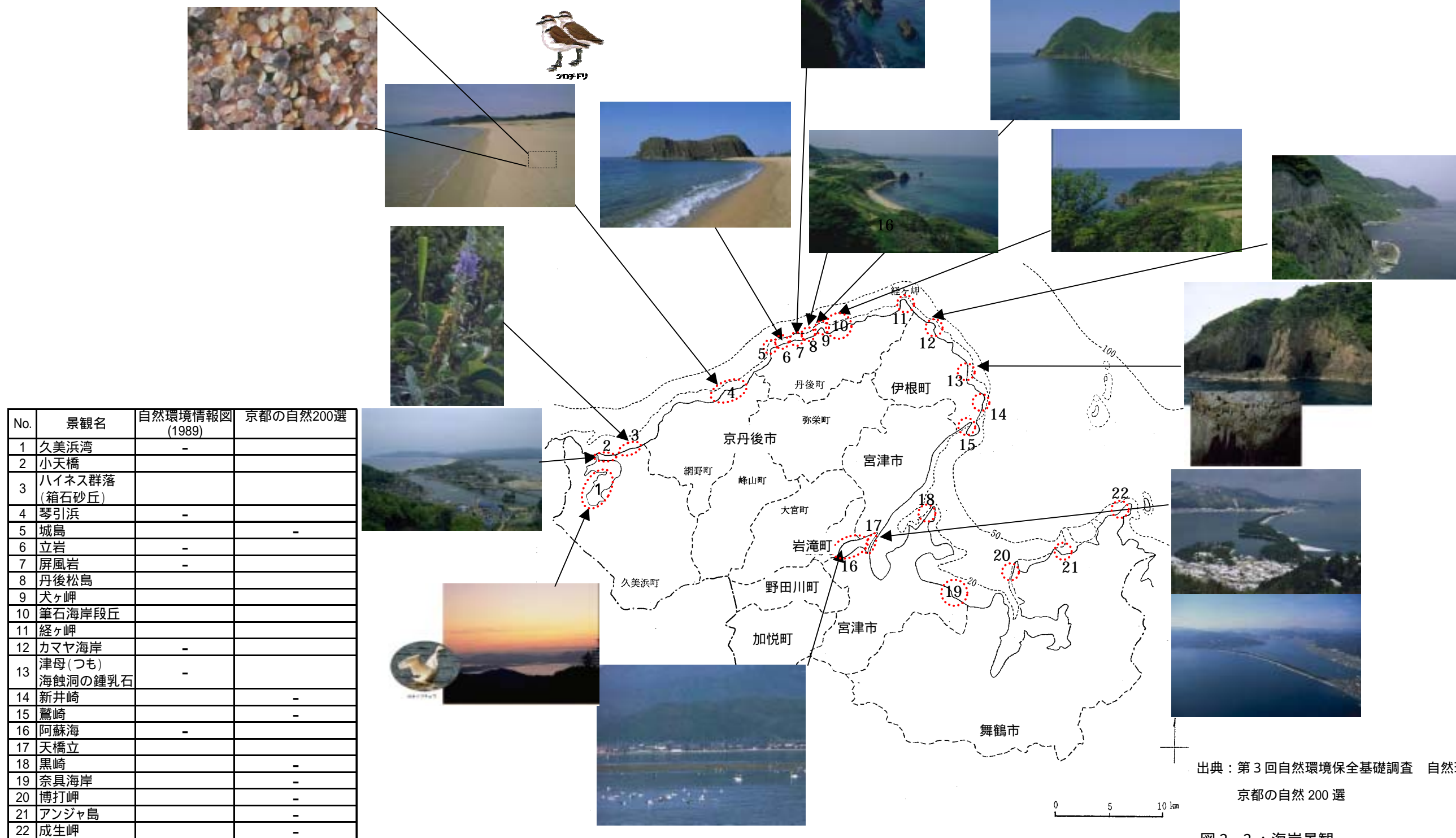


出典:「日本の地質6 近畿地方」 共立出版株式会社

(2) 自然景観

丹後沿岸には、経ヶ岬・新井崎などの岩礁海岸や、琴引浜・八丁浜などの砂浜海岸、天橋立・小天橋などの砂州地形、舞鶴湾などのリアス式海岸など、多様な海岸地形が見られる。

このため、すぐれた海岸景観の見られる地点が多く、これらのほとんどは主要な観光資源ともなっている(図2-2参照)。



出典：第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図(1989)

京都の自然 200 選

図2-2：海岸景観

(3) 気象・海象

京都府は、南北に長い形状である上に、中央部に山岳地帯が横たわっているため、気象は、南部と北部で際立った相違を示しており、北部の冬期は、日本海側特有のしぐれや降雪のため、多雨多雪となり、年間降水量も多い(図2-3参照)。しかし、気温の方は、対馬海流のため、あまり低くならず、年間を通じて、南部より2～3度低い程度となっている。

間人における風向は、通年で全方位の風が同程度の頻度で発生しているが、北風を中心とした方向で比較的強い風が多く、季節風では冬季に北西系で強風が多くなっている。

経ヶ岬の沖合における波浪観測結果によると、波高は、2m以下の発生頻度が83%占めており、周期は、4～8秒の頻度が高い。また、波向きは、北を中心に北北西～北東の範囲で出現する。

潮位は、舞鶴港の舞鶴海洋気象台観測地点において、朔望平均の干満差が約50cmであり、1950年9月30日のジェーン台風来襲時に、既往最高潮位 T.P.+1.16m(久美浜湾)及び T.P.+1.10m(由良、神崎)が記録されている。

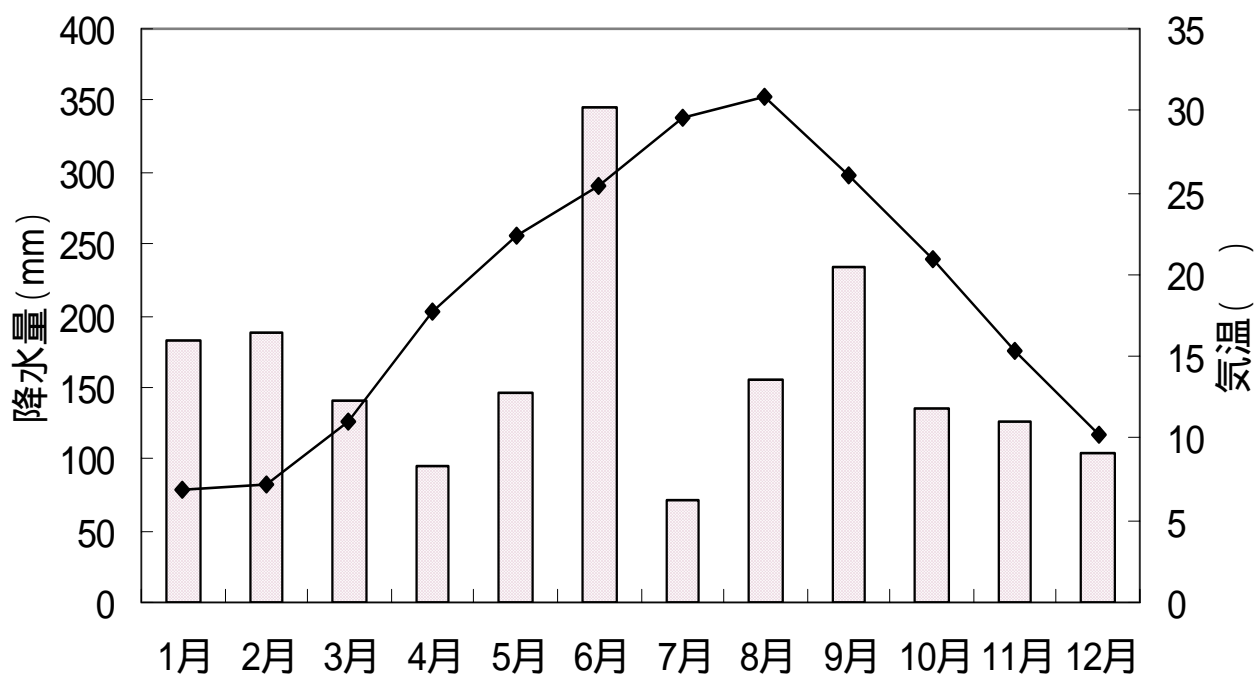


図2-3：降水量・気温(舞鶴：1999年)

出典：「気象データひまわり CDR0M2001」日本気象協会

(4) 交通

沿岸市町に係わる主要交通機関は、福井県側からの「舞鶴～宮津～網野～久美浜を通り兵庫県側に抜けるルート」を基軸にして、「綾部から舞鶴に入るルート」と「福知山から宮津に入るルート」が、鉄道と道路の両面で揃っており、共に京都市からは2時間余の時間距離である。また、平成15年3月には、JR小浜線の電化や、舞鶴自動車道(舞鶴東～小浜西間)の開通など、北陸地方との交通網が強化されてきている(表2-1、図2-4参照)。

区分	名称	区間	距離(km)	主要区間所要時間
鉄道	JR小浜線	東舞鶴～敦賀	84.3	1:51(東舞鶴～敦賀)
	JR舞鶴線	綾部～東舞鶴	26.4	0:23(綾部～東舞鶴)
	北近畿タンゴ鉄道宮津線	西舞鶴～豊岡	83.6	1:46(西舞鶴～豊岡)
	北近畿タンゴ鉄道宮福線	福知山～宮津	30.4	0:26(福知山～宮津)
道路	舞鶴自動車道	吉川JCT～小浜西IC	76.4	1:51(吉川～舞鶴)
	京都縦貫自動車道	宮津天橋立IC～綾部JCT	23.4	0:34(宮津～綾部)
	国道27号	敦賀市～舞鶴市～丹波町	139.4	1:46(敦賀～舞鶴)
	国道175号	明石市～舞鶴市	126.3	0:49(福知山～舞鶴)
	国道176号	宮津市～大阪市	163.5	1:09(宮津～福知山)
	国道178号	舞鶴市～京丹後市～岩美町	209.1	2:52(舞鶴～久美浜)
	国道312号	宮津市～姫路市	152.5	0:52(宮津～久美浜)
	国道428号	宮津市～京丹後市	87.8	1:53(宮津～久美浜)
航路	新日本海フェリー	舞鶴～小樽	1061.0	20:00(舞鶴～小樽)
	舞鶴汽船(廃止予定)	西舞鶴～浦入～東舞鶴	29.3	1:30(西舞鶴～東舞鶴)
	丹後海陸交通	宮津～天橋立～一の宮	6.3	0:25(宮津～一の宮)

表2-1：沿岸市町の主要交通機関



図2-4：道路交通網

出典：舞鶴市ホームページ

(5) 地場特産

各市町とも、海産物および水産加工品が、特産品として挙げられる。中でも、冬の味覚として名高い「松葉ガニ」は、日本海特有の名産品である。また、舞鶴市を除く各市町において主産物となっているいわゆる「丹後ちりめん」は、丹後地方の地場産品として特筆されるものであるが、近年縮小傾向となっている。

この他には、京丹後市の網野町や久美浜町では、砂丘や丘陵地の自然を生かして、「メロン、スイカ、もも等の果物類」も多数栽培されている（図2-5参照）。



図2-5：市町の地場特産（特産品）